

「とくしま未来創造プラン ～徳島からの新たな挑戦～」の骨子(案)

1 背景

- ・「百年に一度の経済危機」などにより依然として厳しい財政状況
- ・「国と地方の協議の場」の法制化など、「本格的な地方分権型社会」への転換
- ・「関西広域連合」の発足、「新しい公共」の推進など「行政スタイル」の変革
- ・「三連動地震への万全の備え」、「経済・雇用対策」など、喫緊の諸課題

2 課題

来るべき新しい時代を見据え、「幸福感あふれる徳島」を支える、さらに柔軟で強固な行財政基盤の創造に取り組むとともに、「徳島ならではの」の新たな「課題解決」に挑戦し、我が国をリードする「新たな行財政改革モデル」（徳島スタイル）を構築していかなければならない。

3 改革の目的

改革は、単に組織や予算を削り、県民の皆様に閉塞感を与えるものであってはならず、「県民の夢や希望の実現」が最大の目的である。

4 改革にあたっての基本理念

改革にあたっては、あらゆる分野において「徳島の持つ潜在力」を活かし、「新しい発想」で「新しい次元の行財政運営」に挑戦する。

5 目指す姿

確かな行財政基盤のもと、「徳島ならではの」の「新たな行財政改革モデル」（徳島スタイル）を常に発信し、「日本の確かな羅針盤」として「我が国をリードする政策発信拠点」となることを目指す。

6 3つの視点と5つの重点項目

このため“3つの視点”のもと、「5つの重点項目」を推進する。

<3つの視点>

既成概念からの超越
に挑戦

スピード感をもって
未来を先取

県民の皆様とともに
創造

<5つの重点項目>

I 「未来志向の財政構造」づくり

・県民ニーズを的確に把握し、必要な政策を重点的に展開できる「財政構造」の実現に挑戦。

II 「夢を支える経営体」づくり

・確かな組織力と、創造力を兼ね備えた、新しい「職員・組織体制」の構築に挑戦。

III 「新しい公共サービスの仕組み」 づくり

・我が国をリードする「新しい仕組み」や、新たな「協働・連携」の創造に挑戦。

IV 「県民目線の県政」づくり

・「県民目線」の徹底を図る新たな取組みにより、「県民とともに」課題解決に挑戦。

V 「活力みなぎる職場」づくり

・持てる力を最大限に発揮し、一丸となって諸課題に立ち向かう「職場づくり」に挑戦。

7 計画期間

平成23年度から26年度の4年間とする。
具体的な改革項目は、工程表を作成し、進行管理を行う。